

2021 年度 大学院秋季入試（経済学専攻）

博士課程（前期）

専門科目 マクロ経済学

---

【合否判定の方法】

《外国語科目》《専門科目》《面接》

提出書類および外国語試験、専門科目、面接の成績を総合的に評価し、合否を判定する。

【合否判定の基準】

提出書類および各試験の結果を総合的に評価し、研究計画の妥当性および博士課程における研究遂行能力を有しているかを判断する。

1 試験日 2020 年 10 月 3 日

2 科目 マクロ経済学（100 点満点）

3 出題意図

1. 財市場のみを捉えた単純なマクロ経済モデルを用いて、均衡 GDP の求め方や、均衡財政や不均衡財政のもとで一定の GDP を実現する政府支出の求め方を問うことにより、単純なマクロ経済モデルに対する理解度を測る。

2. ハロッド＝ドーマーの理論や成長方程式を用いて、成長率の求め方や一定の成長率を実現するために必要な技術進歩率の求め方を問うことにより、経済成長の考え方に対する理解度を測る。

3. 短期と長期のフィリップス曲線の定義や両者の関係性を問うことにより、裁量的な財政・金融政策の短期的な効果と長期的な効果に対する理解度を測る。

4. 財政赤字の原因が政府消費による場合と公共投資による場合で、将来世代に及ぼす負担がどのように異なるのかを問うことにより、財政赤字が将来世代にもたらす負担に対する理解度を測る。

5. マンデル＝フレミングの理論を用いて、開放経済下における貨幣供給量の拡大や政府支出の増加が生産・雇用に及ぼす影響が閉鎖経済の場合と比べてどのように異なるのかを問うことにより、開放経済下における財政・金融政策の効果に対する理解度を測る。